

週刊 女川湾海況速報 (No.28)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

1 月 28 日から 2 月 1 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較しても経時的にも水温は全層で下降。塩分に関しては、先週と比較して表層（0m）で下降傾向にあるが、底層（5m）では同程度の値（33.6～33.7 パーミル）を維持。経時的には底層で 30～31 日に 33.7 パーミルの比較的高い値。この高塩分水は外洋水と推定。

水深 [m]	1月28日 (月)	1月29日 (火)	1月30日 (水)	1月31日 (木)	2月1日 (金)
0	8.1 (33.5)	7.9 (33.4)	7.8 (33.5)	7.8 (33.5)	7.7 (32.6)
5	8.1 (33.6)	8.0 (33.6)	7.9 (33.7)	7.8 (33.7)	7.6 (33.6)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位はパーミル（千分率）。1 パーミル = 1PSU（実用塩分単位）。

②濁度：先週と比較して全層で下降。経時的には 30～31 日に底層で 0.7～0.9FTU の低い値を示すが、それ以外の期間は比較的高い値（1.1FTU 以上）。（単位は FTU）

水深 [m]	1月28日 (月)	1月29日 (火)	1月30日 (水)	1月31日 (木)	2月1日 (金)
0	0.6	0.6	0.5	1.1	0.9
5	1.1	1.8	0.7	0.9	1.5

③溶存酸素：先週と同程度の 9～10mg/l 台を維持。経時的には表層で 30～31 日に 9.7mg/l の低い値を示すが、底層では 31 日に 10.2mg/l の高い値。

水深 [m]	1月28日 (月)	1月29日 (火)	1月30日 (水)	1月31日 (木)	2月1日 (金)
0	9.6	9.9	9.7	9.7	9.8
5	9.5	9.7	9.7	10.2	9.7

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 7.7～7.9℃、33.6～33.7 パーミルの範囲にあり、鉛直的には水深とともに上昇。5m 以深の 33.7 パーミルの高塩分水は外洋水と推定。濁度は 0.6～1.0FTU の範囲にあり、底層（20m）で最大。溶存酸素は 9.4～9.9mg/l の範囲にあり、底層で最小。

1 月 31 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [パーミル]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	7.7	33.6	0.7	9.9
5	7.7	33.7	0.7	9.8
10	7.8	33.7	0.7	9.7
15	7.8	33.7	0.6	9.5
20	7.9	33.7	1.0	9.4

本データの利用については、
東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。